

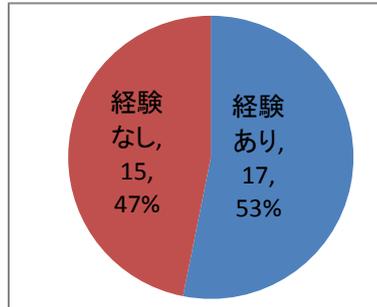
東京都中小企業雇用環境整備推進事業「仕事と介護の両立推進事業」 事業プロジェクト：介護に関する状況アンケート結果

1. アンケート配布日程 2017年12月1日から15日(15日間)
2. 回収率 配布数 36 回収数 32 回収率 88.9%
3. アンケート結果とその分析

介護に関する状況

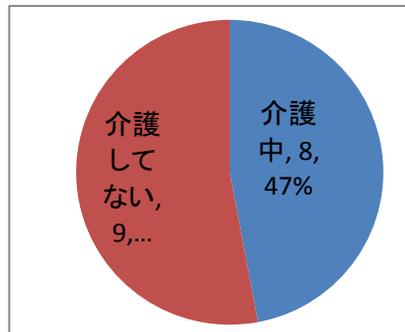
質問1 あなたは介護をした経験がありますか？

介護経験の有無は、およそ半々。



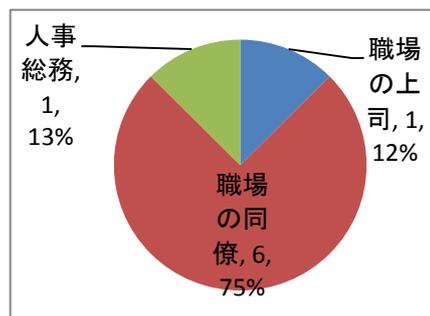
質問2 介護経験ありの人のうち、現在も介護をしていますか？

介護経験ありのうち、
介護中と今は介護していない人数が、
およそ半々。



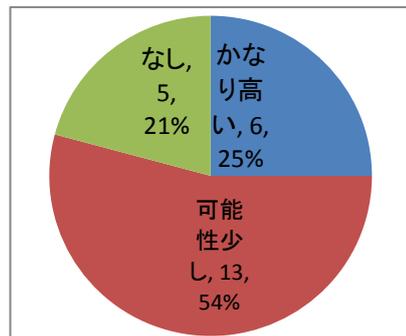
質問3 現在介護中の人で、主に相談などしている方はどなたですか？

現在介護中の人で、
職場での介護に関する
主な相談相手は同僚。



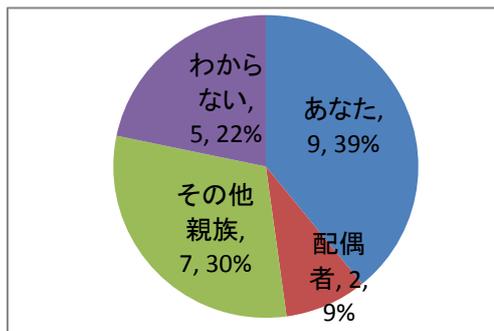
質問4 介護経験なしの人および現在は介護していない人のうち、今後5年間でご家族・親族を介護する可能性はありますか？

約8割が将来介護の可能性がある
(かなり高い・少しある)。



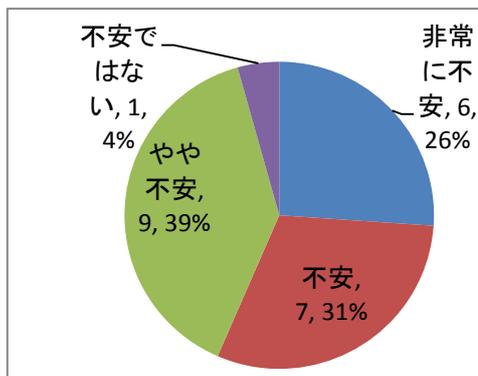
質問5 現在主に介護をしている方はどなたですか？また、将来介護する可能性がある方は、どなたが主に介護する事になりそうですか？

メンバー自身が約4割。
まだわからないのが約2割。



質問6 介護する事について、どの程度不安を感じますか？

介護に対しては
95.7%が何らかの不安を感じている。



質問7 介護に対する不安は具体的にどのようなものですか？

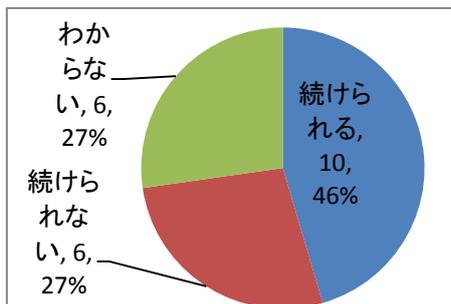
公的制度の仕組みわからない	勤務先の介護支援制度がない・わから	仕事を休めない	介護と仕事の両立の仕組みわからない	労働時間が長い	介護休業で収入減	相談先がわからない	適切なサービス受けられるかわから	介護分担の家族なし
2	2	3	1	2	1	1	5	6
4.2%	4.2%	6.3%	2.1%	4.2%	2.1%	2.1%	10.4%	12.5%

将来の見通しが立たない	漠然と不安	その他
11	8	6
22.9%	16.7%	12.5%

主な不安として挙げられたのが、適切なサービス受けられるかわからない(10.4%)、介護分担の家族なし(12.5%)、将来の見通しが立たない(22.9%)、漠然と不安(16.7%)であり、主な介護者として自分がどのくらいの負担を強いられるのか、先が見えない介護に対する不安を抱えている人が多い。

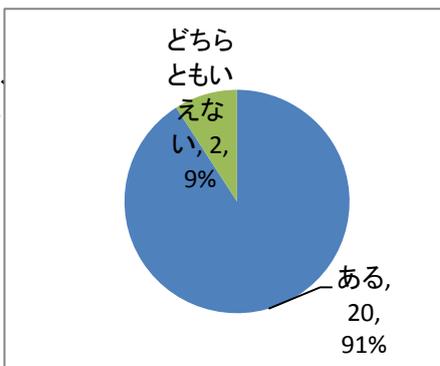
質問8 介護をしながら現在の勤務先で仕事を続けることができますか？

約半数の人が仕事を続けられると感じる一方、約半数は続けられない又はわからないと感じている。



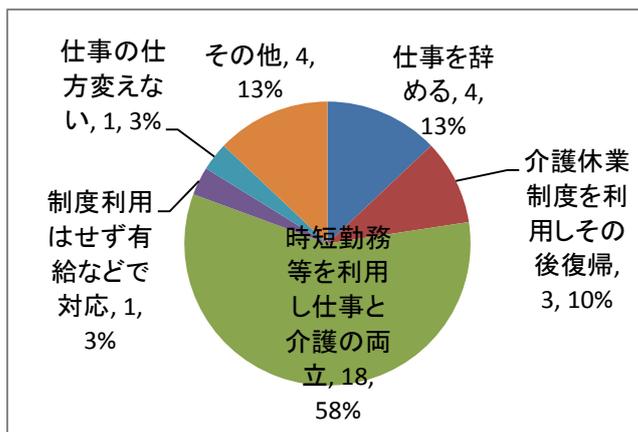
質問9 介護のことについて、職場の上司や同僚に話したり、相談したいすることができる雰囲気が、職場にありますか？

介護に関する相談ができる職場の雰囲気については、9割以上が、相談ができる雰囲気があると感じている。



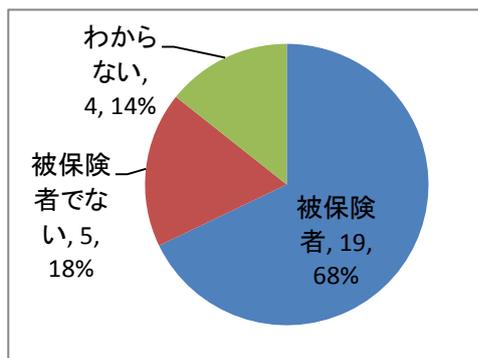
質問10 あなたが介護する事になった場合、どのような働き方が望ましいと思いますか？ 将来介護する事がないと思う方もお答えください。

介護をすることになった場合、約6割の人が時短勤務等を利用して仕事と介護を両立したいと考えている。



質問11 あなたは、公的介護保険制度の被保険者ですか？

介護保険被保険者は、全体の67.9%、被保険者でないのは17.9%、自身が介護保険被保険者かどうかわからないのは14.3%だった。



質問12 公的介護保険のことについてご存知ですか？知っている内容をお答えください。

介護保険制度のサービス原則65歳	の自己負担割合は原則として1割	「要支援」と「要介護」がある	居住費・食費は原則として全額自己負担	超過分が全額自己負担	できないサービスもある
27	27	30	15	24	24
87.1%	87.1%	96.8%	48.4%	77.4%	77.4%

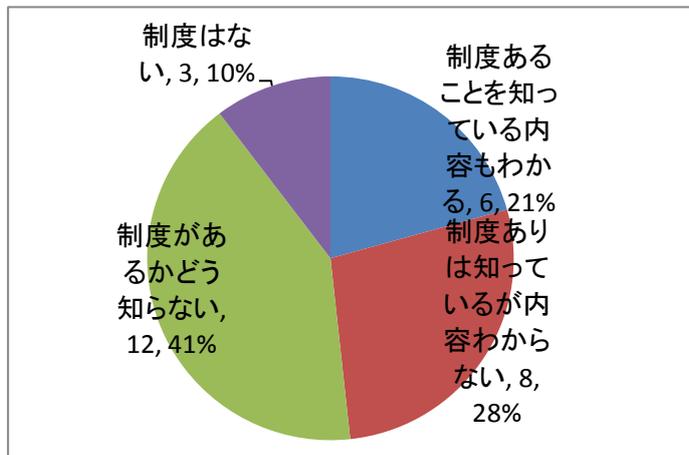
介護保険制度に関しては、概ね概要を知っているメンバーがほとんどだった。そのなかでも、認知度が低かったのは、「居住費・食費の原則全額自己負担」だった(知っているのが48.4%、他の項目は、7割から8割の認知度があった)

質問13 地域包括支援センターのことについてご存知ですか？

利用したことがあり名称も利用方法も知っている	利用はないが名称について聞いたことあり利用方法も知ってる	名称は聞いたことあるが利用方法は知らない	名称も利用方法も知らない
9	10	11	2
28.1%	31.3%	34.4%	6.3%

地域包括センターについて、9割以上が知っているが、その利用方法まで知っている人は5割程度。

質問14 勤務先の介護に関する支援制度についてどの程度知っていますか？

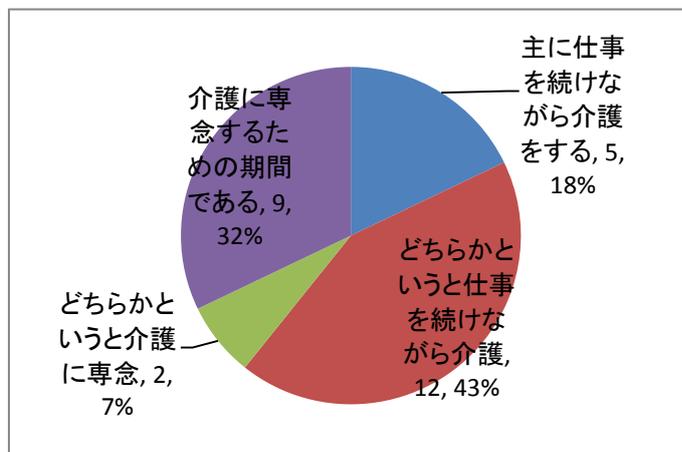


約半数の人が制度があることを知っているが、制度があるかどうか知らないまたは制度がないと思っている人が半数。

制度があると知っている人のうち、半数以上の方が内容まではわからないと回答。この結果から、職場の介護支援制度についての認知度は低い。

質問15 介護休業に対するあなたの考え方に最も近いものを選んでください。

- A: 介護休業期間は主に仕事をつづけながら介護をする為の体制を構築する期間である。
- B: 介護休業期間は介護に専念するための期間である。



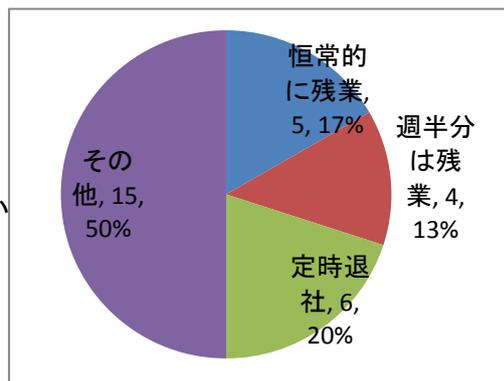
約6割の人が介護と仕事を両立するための期間と考えている。

仕事や職場の状況

質問16 職場の残業の程度は平均的に見てどうですか？

残業については、3割程度が常にあるまたは週半分は残業をしている。

その他が5割となっているが、訪問介護ヘルパーやワーカーズという働き方の特徴が一般的に考えられる「残業」のイメージと一致しづらいのかもしれない。



質問17 1年間の有給休暇は希望通り取れましたか？

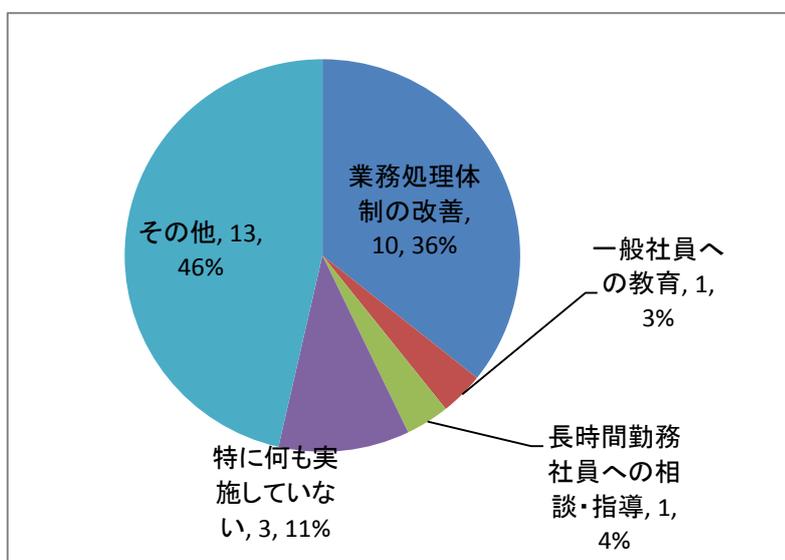
希望通り	だいたい希望通り	どちらともいえない	あまり希望通りとれなかった	希望通りとれなかった
6	0	12	2	0
30.0%	0.0%	60.0%	10.0%	0%

「有給休暇」は、2017年12月1日現在、常勤職員(2名)にのみ付与されていて、他の非常勤・パート職員には付与されていない。よって、質問の内容として当てはまらない職員が多い。

質問18 勤務先や職場では、長時間労働の削減や業務効率化のためにどのような取り組みをしていますか？

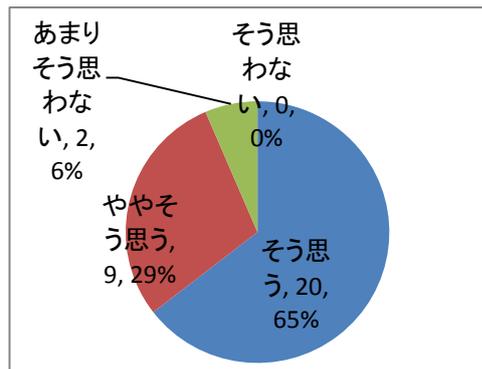
業務処理体制の改善に取り組んでいると回答した人が38.5%で、具体的な取り組みとして最も多かった。

一方、特になにも実施していないという回答が11.5%、その他が50%だった。



質問19-1 職場のコミュニケーションについて、上司とのコミュニケーションは円滑ですか？

93.5%が円滑だと感じている
(そう思う・ややそう思うの合計)。



質問19-2 同僚や部下とのコミュニケーションは円滑ですか？

93.5%が円滑だと感じている
(そう思う・ややそう思うの合計)。

